

## 令和2年度淀川区区政会議 第1回安全・安心なまち部会 議事要旨

日 時：令和2年10月2日（金）午後6時40分～午後7時34分

場 所：淀川区役所 5階 501会議室

出席者：

・委員5名（8名中）

増田委員、渡土委員、永野委員、堀委員、米山委員

[欠席委員：田中委員、新井委員、中本委員]

・区役所

久保政策企画課長、浅雛保健福祉課長、舟木市民協働課長代理、

岡田市民協働課担当係長 ほか

内 容：

### 1. 議 題

(1) 令和2年度淀川区運営方針の中間振り返りについて

資 料：

【当日配布資料】

・次第

・区政会議部会名簿

・座席表

・よどマガ10月号

【事前配布資料】

・（資料1）区政会議（部会・全体会議）においてご意見をうかがいたい内容

・（資料2）令和2年度 運営方針重点的に取り組む主な経営課題（概要版）

---

### 1. 議 題

(1) 令和2年度淀川区運営方針の中間振り返りについて

○ご意見を頂きたい点について説明。（久保政策企画課長）

○経営課題1 安全・安心なまちづくりの具体的取組 1-1-1～1-1-4 について説明（岡田市民協働課担当係長）

・一般的に目標値というのは100%だと思う。それに対してどういう施策でそれを上げていくかってということだと。なぜ目標値はこのようにばらばらなのか。全体的な大枠として、目標値の数値目標の設定の仕方については、大まか

に決めていかないといけないのではないか。(渡士委員)

⇒事業によっては、広く不特定多数にアンケートを採るやり方と、その個別のイベントが事業の中心であれば、イベントに参加した満足度を測るというやり方と、大きく2つあると考えている。(久保政策企画課長)

- ・指標について、自助の取り組みは、日頃から家庭で水や食料などを7日間以上蓄えている区民の割合を増やしていくということが一番の目標だと思う。それに対して、評価が啓発イベントにおいて防災意識が高まったとなっている。防災の意識が高まったというのは、どんなにこれが100%になったとしても、誰も水を買わなかったら意味がないので、この評価指標そのものが間違っているように思う。次の共助に関しても、津波避難ビルを知っている区民の割合が高ければそれでいいのかと感じる。それこそ、避難カードを書くようになるとか、自分の避難場所はここだと決めるというぐらいの具体的な内容にしたほうがいいのではないか。

公助に関してはとてもいいと思うので、こういうことをしていますということをもう少し自助や共助につなげるような感じにして、自助は自助、共助は共助、公助は公助という形ではなく、全部がつながっていくような成果目標にしていくのがいいのではないかと考えている。(増田委員)

- ・啓発イベントにおいて防災意識が高まったと回答する参加者の割合は、参加者の感じ方にもよる。非常に属人的な数値を目標にすることに、意味があるのか。指標を作るより、効果を上げるほうに努力をするほうが建設的なのではなかった。(永野委員)

⇒区の事業は相当の税金を使って実施しているため、結果を適切にチェックするためのPDCAを行うために数値目標を設定している。(久保政策企画課長)

- ・備蓄の7日分については、頭の中で必要だと分かっても、実際はそれを置かない。災害時になかったら困るということについてのPRが必要だと考える。私は目標もこれでいいと思うが、いかに防災意識を上げるかを考えるのが大事だと思う。(米山委員)

- ・1-1-1では昨年度の満足度が97%と高くなっているので、高い目標を設定してもいいと思う。(堀委員)

- ・よどマガ6月号に淀川区の各区の津波避難ビルが載っている。小さくて見にくいですが、これだけで自分の地域の津波避難ビルが頭に入っている方はまずいないと思う。いざという時、一番近い津波避難ビルはと、すぐ頭に思い浮かぶようにするのがいいかと思う。そういう意味では、地区ごとに拡大した最新のものを配布するPRも必要かと思う。(米山委員)

- ・津波避難ビルは外から見ても、パッと目に入るような表示ができれば、地域、地域外の方も、咄嗟に避難行動ができるかと思う。(堀委員)

- ほかの自治体で上に津波避難ビルのマークがあるところもある。逃げるときにみんな上の方に向かっていくため、そのほうが分かりやすいと言われている。大阪市は入り口にマークを貼っているのでわかりにくいと言われている。無意識に歩いても目に入るようにした方が、認知度も上がっていくかもしれない。(増田委員)

○経営課題 1 安全・安心なまちづくりの具体的取組 1-2-1 について説明 (浅灘保健福祉課長)

- 70%の数値目標の根拠は何なのか。(渡士委員)

⇒区民アンケートを毎年採っているが、前年のアンケート結果に上乗せする形になっている。(浅灘保健福祉課長)

⇒区民アンケートは市民局から住民基本台帳のデータを基に区内1,500人  
を無作為に抽出して、年に2回実施してる。2回のうち1回は若年層だけに  
限定するなど、区の課題に応じて対象の抽出方法も工夫するようにしている。  
(久保政策企画課長)